

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成22年7月1日(2010.7.1)

【公開番号】特開2008-295176(P2008-295176A)

【公開日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-048

【出願番号】特願2007-137250(P2007-137250)

【国際特許分類】

H 02 J 7/00 (2006.01)

H 02 J 17/00 (2006.01)

H 04 B 13/00 (2006.01)

H 04 B 5/02 (2006.01)

【F I】

H 02 J 7/00 301D

H 02 J 17/00 A

H 04 B 13/00

H 04 B 5/02

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月27日(2010.4.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電力供給システムであって、

電磁波を伝搬する電磁波伝搬装置と、

負荷に電力を供給する電力供給装置とを備え、

前記電力供給装置は、

前記電磁波伝搬装置の表面に近接して配置される基板と、

前記基板においてマトリックス状に配列され、前記電磁波伝搬装置の表面に対して実質的に同じ高さの位置に配置されて、前記電磁波伝搬装置により伝搬される電磁波を受信する複数の電極と、

隣り合う2つの電極の間の電圧を整流する複数の整流回路と、

複数の整流回路の出力を結合する結合部と、

を有することを特徴とする電力供給システム。

【請求項2】

1つの電極は、異なる2以上の整流回路に接続されることを特徴とする請求項1に記載の電力供給システム。

【請求項3】

複数の電極のそれぞれは、同じ大きさの多角形に形成されていることを特徴とする請求項1または2に記載の電力供給システム。

【請求項4】

電磁波伝搬装置は、複数の開口を有する第1導体部と、第1導体部に略平行な第2導体部と、第1導体部と第2導体部の間の誘電層とを有し、

電極の中心同士の間隔は、第1導体部の開口の中心同士の間隔よりも大きく設定されていることを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載の電力供給システム。

【請求項 5】

負荷に電力を供給する電力供給装置であつて、
電磁波を受信する複数の電極と、
隣り合う 2 つの電極の間の電圧を整流する複数の整流回路と、
マトリックス状に配列された複数の電極を下面に支持し、複数の整流回路を上面に支持
して、電極と整流回路とを電気的に接続する基板と、
複数の整流回路の出力を結合する結合部と、
を備えることを特徴とする電力供給装置。

【請求項 6】

整流回路の数は、電極の数よりも多いことを特徴とする請求項 5 に記載の電力供給装置
。

【請求項 7】

複数の電極のそれぞれは、同じ大きさの多角形に形成されていることを特徴とする請求
項 5 または 6 に記載の電力供給装置。

【請求項 8】

結合部は、複数の整流回路の出力を並列接続または直列接続することを特徴とする請求
項 5 から 7 のいずれかに記載の電力供給装置。